

学校法人相愛学園

理事長 相田芳久 殿

令和2年度

自己点検・評価 報告書

令和3年2月18日

学校法人相愛学園 焼津豊田幼稚園

園長 佐野正子

理事長
決 済



令和2年度の園運営についての自己評価を実施しましたので、結果をご報告いたします。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、4月・5月が休園となつてしまいました。休園期間中を利用して保育について検討を重ねたり、希望者向けに家庭訪問、Zoomの取り組み、自由登園日等を設け、幼児がスムーズに登園できるよう計画をしていきました。

6月からのスタートした新年度。コロナ禍という厳しい状況の中でも、幼児の実態を踏まえながら教育内容や環境構成の工夫を心掛けました。幼児一人一人の育ちを丁寧にとらえると共に、今できることを精選し実行することで、それなりの成果が生まれたと感じています。収束にはまだまだ遠い現状ではありますが、次年度も良い目と心を養いながら保育の基本である幼児の心に沿った援助、指導を目指していきたいと思ひます。また、個々のレベルでの発達の支援や遊びの援助について見てみると、まだ十分に検討の余地があると思ひます。幼児の育ちを支える教職員の一層の資質向上に取り組んでいきたいと考えています。

教育計画全般にわたっては、コロナ禍で実施できなかった活動もありましたが、概ね収穫を得て無事終了できたのではないかと考えております。

具体的な教職員の自己評価においては、項目ごと各自で振り返りを行ったものをまとめました。自分自身の課題が明確になってはいるものの、経験年数によって課題克服に向けての手立てや努力に個人差が表れているように感じます。教職員それぞれが真摯に取り組んでいくよう求めてまいりたいと考えます。

以下、園長による自己評価、教職員による自己評価等について、自己点検・評価結果の報告として報告します。

令和3年2月18日

□教育計画について

○教育計画、年間指導計画にしたがっての教育運営

自分なりの思いや考えを意欲的に表現できる子どもの姿を目指していく

- ・子どもの発達やその時期においての大切にしたいことを共通理解し、保育計画を組み立ていく。
- ・各担任が自分なりの発想や工夫を保育に活かしていけるよう努力していく。

○園内研修

- ・初任者及び経験の浅い教員と中心とした公開保育研修を実施する。
- ・子どもの気になる表れや育ちを共有するための意見交換の場を設ける等、支援体制を整えていく。

○県私立幼稚園協会主催の研修及び焼私幼の研修等の中止。リモート研修は参加。

⇒園内での研修（コロナ対策や行事の開催方法、子どもの表れについての検討等）

○園内自己点検・評価の実施、振り返りと来年への課題の点検

□地域連携計画について

○焼津中央高校生の保育体験実習及び豊田中学校生職場体験の中止。

豊田中学校生の保育体験の中止⇒手作りマスク、手作り絵本をいただいた。

○豊田地区青少年育成大会は規模縮小の為、園長のみ参加した。

○子育て支援事業として5月より「つくしんぼクラブ」を実施予定だったが変更。

2学期より園庭開放と共に親子参加型のイベント事業を規模縮小や時間短縮で実施した。

○JRC活動の一環として地域施設の清掃作業を例年行っていたが、園外での清掃作業については取りやめた。

□安全管理についての実践

○園庭の遊具の安全点検(学期末)、年度末には専門業者による点検を合わせて実施。

○防火自主チェック表を作成し、月1回職員による点検確認作業を実施。

○年間計画に従い、避難訓練（地震津波対応・火災対応等）を実施。職員の消火訓練も実施。

○養護教諭を中心に園児の健康管理体制について検討及び実践練習。

□施設設備計画について

○南棟屋根塗装・南棟雨とい補修清掃

○北棟空き教室エアコン設置

○芝生緑化関係事業

●延長保育こぼと組LED照明に交換

●渡り廊下テント交換

●給食室スチームコンベクション修理

} ●については急遽工事となった。

評価分類		内 容	チェック
I 教育内容	1 保育の計画	○建学の精神—に基づき教育理念や教育目標を明文化する	○
		○教育課程は教育理念に基づき、教育要領の精神を踏まえて編成する	○
		○社会状況や幼児の実態、地域性などを考慮し必要に応じて教育課程の見直しを行う	○
		○幼児の生活が豊かになるように行事を精選し、幼児の発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行う	○
	2 教職員体制の充実	○教職員が園の教育理念や教育方針を共通理解するための取組みを行う	○
		○指導計画が教育要領、教育課程、幼児の実態に即したものになっているかを把握し、指導助言できる体制をつくる	○
		○教師が上級免許や他の資格を取得したり、教員免許の更新をしたりする機会を確保する	○
	3 指導の在り方	○環境を通して行う幼稚園教育の特質を理解し、発達の道筋を見通して教育的価値のある環境を計画的に構成する	○
		○幼児の主体性と教師の意図とのバランスを考慮しながら、幼児が主体的に活動できる環境を構成する	△
		○幼児とのかかわりのなかで信頼関係を構築するよう努める。安全で心地よく過ごすことができる環境を整える	○
		○幼児一人ひとりの発達の特性に応じた指導を行う	○
		○教職員全員で一人ひとりの幼児を育てるという視点に立って、教職員間の共通理解と協力体制を築き、指導を行う	▲
		○遊びを通しての総合的な指導を行う	○
		○障がいのある幼児に対して、家庭や関係機関と連携しながらその状態に応じた指導内容や指導方法の工夫をする	○
		○子どもの発達と学びの連続性を確保するため、幼稚園と小学校との連携を図る	○
	4 研修や研究	○教育内容の質の向上や改善のため、園内研修を企画し行う	△
○教師の資質向上のために、公的機関などが開催する研修会などに参加する機会を確保する		○	
○個々の教師が自分の課題を把握し、その課題が達成できるような指導体制をとる		▲	
II 地域の幼児教育センターとしての役割	1 子育ての支援	○子育ての支援のために、未就園児の親子登園や子育て相談、情報の提供などを実施する	○
		○さまざまな教育に関する相談を受け入れる	○
		○子育ての支援に当たって、児童相談所や病院などの専門機関に相談や連携ができる体制を整える	○
	2 預かり保育	○教育課程に基づく活動を考慮したうえで預かり保育の内容を検討し、計画的に行う	○
○預かり保育を担当する教師の体制を整える		○	
III 安全管理	1 外部侵入者・来訪者などに対する安全対策	○幼稚園施設整備指針に基づき、適切な防犯体制を整える	○
		○地震などの自然災害に対する防災対策を整える	○

	2	施設・設備・園児 に対する安全対策	○地震などの自然災害に対する防災対策を整える	○
			○幼稚園設置基準を踏まえ、施設設備の安全管理に努める	○
			○消防法を踏まえ、消防計画を作成し実施する	○
			○防火管理者を定めて防火管理を行う	○
			○設備や遊具の点検を定期的に行う	○
	3	衛生管理	○幼稚園設置基準を踏まえ、衛生管理に努める	○
			○学校保健法を踏まえ、保健安全計画を作成し実施する	○
			○学校保健法を踏まえ、園児及び教職員の健康診断を実施する	○
			○学校保健法を踏まえ、伝染病予防や発生に対応する	○
			○学校保健法により、学校医、学校歯科医、学校薬剤師を置く	○
IV 人事管理	1	園の教育目標達成のための人事	○幼稚園設置基準を踏まえ、園の教育目標が達成できる人事を行う	○
			○幼稚園設置基準を踏まえ、個々の教職員が自己評価などに努める	○
	2	教職員の雇用条件	○労働基準法に基づいた労働条件を整備し、明示する	○
			○私立学校教職員共済法を踏まえ、教職員の福利厚生に努める	○
3	就業規則に基づく 労務管理	○労働基準法に基づいて就業規則を作成し、行政官庁に届け出る	○	
4	教職員の健康管理	○学校保健法に基づき、毎年、教職員の健康診断を実施する	○	
V 財務管理	1	予算作成及び予算 管理	○学校法人会計基準に基づき、予算書を作成する	○
			○月次で予算管理を行い、補正予算が必要な場合は理事会の承認を得る	○
	2	決算	○学校法人会計基準に基づき、会計処理を行うとともに財務計算に関する書類を作成する	○
			○決算は公認会計士の監査を受け、適正であることの証明をつけて監督官庁に届け出る	○
3	納付金算定	○園児納付金の算定に関しては、算定根拠をしっかりともち、外部に説明できるようにする	○	
4	物品購入	○教材などの在庫は種類・量共に、適切に管理する	○	
VI 評価と情報の 公開	1	評価	○重点目標とそれを達成するために必要な評価項目を定めて自己評価を行う	○
			○自己評価の結果や分析、それを踏まえた今後の改善方を自己評価の結果報告書にまとめる	○
			○学校関係者評価委員会を設置し、自己評価の結果について学校関係者評価を行う	○
	2	情報の公開	○幼稚園設置基準により、教育活動その他の学校運営の状況について、積極的に情報を提供する	○
			○公開する情報の中で、個人情報とされるものについては保護されるようにする	○
			○自己評価の結果を公表する	○
			○学校関係者評価の結果を公表する	○
		○幼稚園幼児指導要録の写しを小学校に送付し、情報の共有と相互理解を図る	○	

—令和2年度 教職員の自己評価内容について—

本年度も年度末に園内において教職員対象の自己評価を実施した。あらかじめ設定した評価項目にしたがっての振り返りを行なった。その中で、個々の課題の掘り起こしにつなげ、評価・改善策を考えることとした。今年度は4項目について自己の保育を振り返り記述したものをまとめた。以下の通りである。

1. 「自らの保育の計画・実践」についての考察
2. 「子どもの見取りと学級経営」についての考察
3. 「教職員間の連携」についての考察（成果と課題）
4. 「保護者との連携」について

以下、複数の教職員よりあげられた次年度への自己課題についてまとめてみた。

「自らの保育の計画・実践」について

- ・週案を書き保育を計画していてもいざ実践となると計画通りに進んでいかないことも多かった。計画しながら頭の中でシュミレーションをしつつ様々な状況に対応できる力を身に付けていきたい。また、大まかでなく細部まで丁寧に計画していけるよう努力したい。
- ・主活動の時間以外のちょっとした空いた時間も有意義に使えるように工夫していきたい。
- ・導入の仕方、伝え方等不十分だったこともあり、年齢、クラス、個々に合わせてどんな伝え方をすれば良いのかをよく考えていきたい。
- ・コロナの感染予防や対策という面で自粛したり行わなかったこともあった。違う方法で経験を補うよう気を付けたが、やはり経験不足を感じることもあった。この状況下ではあるが自分ができることを精一杯行っていきたい。
- ・子どもの「意欲」と「楽しい」を引き出せるように創意工夫をしていきたい。
- ・子どもの興味に合わせてできるだけ柔軟に対応するよう心掛けてきた。今後も子どもを中心にした保育を考え、環境を工夫し子どもが安心して楽しく過ごせる保育を意識していきたい。
- ・自分自身では早めに計画をしてきたつもりではあるが、コロナ禍での実践で変更が続き、慌ただしくなってしまったこともあったので気を付けていかなければならない。

「子どもの見取りと学級経営について」

- ・一人一人の子どもの気持ちに寄り添って保育をするように心掛けた。しかし、活動の際や普段の生活の中で困っている子にばかりに目を向けてしまっていたり、注意をしていることが多くなってしまっていたため、全体に目を向け褒めることを心掛けるようにしたい。
- ・子どもの見取りで大切なことは、その子の気持ちに寄り添い話をよく聴くことであると感じたのでこれからも気を付けながら生活していきたい。
- ・2か月遅れでのスタートとなったので、精神的に安定するまでに時間がかかった。
- ・集団生活をしていく上で、一斉に活動に参加することが難しい子の対応と一生懸命頑張っている子への対応のバランスをきちんと取っていき、個々への理解を深めたい。
- ・クラスの子ども達の個人差が大きく、様々な面で援助を必要とすることが多かった。個で見れば日々の成長を感じるが、集団としてみると気になることも多く、個と集団での見方の難しさを感じた。
- ・昨年度より1クラスの人数が少なくなった分、より一人一人を大切にその場に応じて関わりを認めたり、励ますようにしてきた。また、時々一人一人の育ちや課題を確かめながら次の保育に生かしていくよう意識してきた。
- ・援助の必要な子が中心になってしまう場面が多くあった。スムーズに活動に入れたり自分で考えて進めることができる子がつい後回しになったり、我慢をさせてしまったこともあったと反省している。

「教職員間の連携」について

- ・学年間で自分からもっと積極的にクラスの状況や様子を伝えあうようにしていく必要があると感じた。
- ・初めてのことばかりだったため分からないことがたくさんあったが、分からないことをそのままにせず聞くことでクラス運営がより良いものになっていくのだと感じた。
- ・自分自身の思いだけでなく、みんなの思いを気軽に伝え合った上で連携をとっていききたい。
- ・行事や生活の中での子どもの見取り等、担任だけが自分の思い込みで子どもの状態を判断することのないよう複数の保育者の目で確かめ、いろいろな角度からの援助を考える方法も大切ではないかを感じる。そうすることで保育者の経験による差も多少なりとも解消されるのではないかと思うが、教職員間の気持ちの共有のバランスがうまくいかないと一方的になってしまい抱え込んでしまう場合もあるので、気持ちの共有は今後も努力が必要だと思う。
- ・忙しくなる時期は同じなので、声を掛け合い気付けるような関係性を築くこと、気持ちに余裕を持つよう心掛け助け合えるようにしていきたい。

「保護者との連携」について

- ・お迎えの保護者の方とは日々の生活の様子について話すことができるが、バス通園の保護者の方とはゆっくり話す機会が少ないため、電話や会った時にできるだけ生活の様子などを話すよう心掛けた。
- ・園として、また集団生活としての願いや思いと、保護者の方の気持ちはずれてしまっていることがあった。保護者の考えに共感しつつも、園としてまた担任としての気持ちも少しずつ伝えながら理解していただくよう対応していきたい。
- ・ゆとりのある生活の中での一つ一つの経験や気づきをもっと大切にしていきたい。
- ・今年はコロナのこともあり、余計に保護者との接点が少なかった。
- ・今後、コロナ対応「新しい生活様式」の保育（行事・参観も含めて）を保護者の方々に理解していただけるよう、対策や方法をより一層考えていかなければと感じる。
- ・限られた時間（保育中や放課後等）を有効に使えるように内容を見直したいと思う。

全体的な分析

全体を通して、各自が自分の課題を捉えてその課題に向けて努力していることは感じとることができた。年代やポジションによって個人差はあるものの、それぞれに自分自身の視点でしっかりと振り返り、成果と課題を明確にしていくことの大切さを感じとっているようだ。

近年、教職員の経験差が大きくなった体制での園運営が行われている現状がある。経験差が大きい中でもそれぞれに努力を重ねて過ごしてきているが、大きな行事を前にすると頼りすぎたり任せられなかったりと上手く回っていかない場面が見られたりする。お互い信頼し合うことを根底に、寄り添いながら引き続き努力していけるような人的環境を整えていきたい。

級外教職員もそれぞれの経験を活かし良きサポーターとして、子ども一人一人の育ちや若い年代の教員への励まし、保護者との信頼関係の構築などに心を砕いてきた様子を感じとることができ、心強い存在となっている。

また、今年度は新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、休園措置を取ったり、密にならないよう保育計画を変更したりと、例年とは違う面での教職員間の協力体制も構築されたと思う。まだまだ先の見えない状況ではあるが、その都度保護者の皆様にご協力を仰ぎながら対応を考えていきたい。

常に感じることはあるが、子どもの前に立つ教師としての姿、後輩の前に指導者として立つ姿、先輩の話を真摯に受け止め活かしていこうとする姿…等、それぞれのポジションで自分の立ち位置、立ち振る舞いを再度検証確認し、実行していくことこそ求められていると感じており、次年度以降への継続の課題としていきたい。

一年度末アンケート調査にご協力ください

☆お客様の学年は？ 1. 満3歳 2. 年少 3. 年中 4. 年長
(お子様が2人の場合は2学年に丸印をお願いします。)

☆評価基準(回答欄に該当数字を記入してください)

3…そう思うor大体そう思う 2…あまりそう思わないorそう思わない
1…どちらともいえない

	《お子様についての質問》	回答欄
Q1	幼稚園に行くのを楽しみにし、行事などにも喜んで参加していますか。	
Q2	友達や保育者と関わる中で、園生活を楽しくしていると思いますか。	
Q3	子ども同士の関わりが少しずつ構築されてきていると感じますか。	
	《幼稚園及び教職員についての質問》	回答欄
Q4	教職員はお子様の幼稚園生活に関わることをよく見てくれていますか。	
Q5	教職員はお子様の健康(心のケアも含め)や安全面に気をつけていると感じますか。	
Q6	教職員はお子様のことで保護者の皆様と連絡を取っていますか。	
Q7	幼稚園は年間行事を工夫し、特色のある教育を行っていると思いますか。	
Q8	幼稚園は園の情報をわかり易く伝えていると思いますか。	
Q9	幼稚園は施設整備など教育環境の充実に努めていると思いますか。 また、清掃や整理整頓が行き届いていると思いますか。	
Q10	幼稚園は子どもの安全に配慮していると思いますか。 (コロナ対応・交通安全指導・遊具の点検・防災避難訓練等)	
Q11	幼稚園と家庭との相互の連携がとれていると思いますか。	
Q12	一年の園生活を振り返ってお子様の成長を実感されますか。	
※実感されるのはどんな面でしょうか。実感されない方はどのような理由からでしょうか。 <div style="border: 1px solid black; height: 150px; width: 100%;"></div>		

Q13	新型コロナウイルス緊急事態宣言が発令され、休園から始まった令和2年度でした。行事が延期や中止になったり、保育内容が変更となったりしました。その際の幼稚園の対応についてどのように感じられましたか。
※わんぱくホリデー・音楽祭・造形まつり等…お気づきの点がありましたら下記にご記入ください。 <div style="border: 1px solid black; height: 200px; width: 100%;"></div>	
Q14	園生活全般にわたってご意見、ご感想があればご記入ください。 (教職員への要望・次年度への要望等でも構いません。)
<div style="border: 1px solid black; height: 250px; width: 100%;"></div>	

ご協力、誠にありがとうございました。

令和2年度 保護者アンケート実施結果についての考察

学校法人相愛学園 焼津豊田幼稚園

保護者の皆様にご協力いただいたアンケートがまとまりましたのでご報告いたします。

《回収率》

満3・年少	年中	年長
70%	71%	42%

以下に、各設問について主な複数意見をまとめて報告します。

☆ Q1～Q12質問については、ほとんどの方が『そう思う or 大体そう思う』の評価でした。

但し、Q6・教職員はお子様のことで保護者の皆様と連絡を取っていますか。

Q8・幼稚園は園の情報をわかり易く伝えていると思いますか。

Q11・幼稚園と家庭との相互の連携がとれていると思いますか。

上記の3項目については『あまりそう思わない』『そう思わない』というご意見もあり、園として取り組んでいかなければならない課題となりました。

☆Q12・お子様の成長についての自由記述欄では…

満3歳 } ・満3、年少組共初めての集団生活ということもあり、基本的な生活習慣の確立、園生活を楽しんでいる

年少組 } 様子、友達との関わり、言葉の成長などが多くあげられた。自分のことは自分でやろうとする姿などから成長を感じているようだった。

年中組 } ・友達関係の広がり、園行事に期待し張り切って取り組む姿、苦手なことにも挑戦しようとする気持ちなど、園生活や意欲の面での成長が多くあげられていた。また、行動範囲や周りへの興味も広がっている様子も感じているようだ。

年長組 } ・自分で考えて行動しようとする姿、自分なりの目的をもってがんばろうとする姿勢、失敗や間違いをしても気持ちを切り替えられるようになった姿、友達関係の深まりや協調性の育ち、優しさなど、人との関わりにおける成長が多くあげられた。また、相手の話をしっかりと聞く、自分の思いや状況を順序立てて相手に伝えるなど、言葉の成長も実感しているようだった。

※いずれの学年の成長も、その年代で私達が育ててほしいと思う姿と重なり嬉しく思います。保護者の皆様がお子様の充実した育ちの場面を数多く実感できるよう、保育内容の一層の向上に励んでまいります。

☆Q14・Q15の問いの自由記述欄のでは…

本年も多くの建設的なご意見を頂戴しました。特にご意見の多かった点については下記に列記しました。早速来年度より改善に向けた対応を考えてまいりたいと思っております。

○手紙の配布回数・内容について一層の吟味をお願いしたい。

⇒手紙が多い、内容が分かりにくい、重複する、誤植…等毎年ご意見としていただく問題です。

まだまだ簡素化できる面もあると思いますし、メール・Webを利用したお便りのデジタル化のご意見もいただいておりますので、検討していきたいと思っております。

○園で流行している病気を冬以外でも知らせてほしい。

- ⇒例年インフルエンザのような伝染性の病気が発生した場合は毎日メールにてお知らせしてました。(今年度はインフルエンザの罹患者が出ていませんのでお知らせしていません。)
- その他、流行の兆しのある病気や注意する病気については、「保健日より(月1回配布)」で知らせるようにしています。

○登園時体温を伝えても園内に入るとすぐ検温をするなら体温を伝える意味はあるのか。

- ⇒家での検温をお願いした当初、家での検温を忘れてしまい登園する機会が多くあったり、バスに乗った後具合が悪くなる場合等を考慮し検温をしていました。保護者の皆様のご協力でマスク着用や体温計測が浸透してきていることに感謝します。今年度終了までは引き続き2重検温の体制で進めさせていただきますのでご協力ください。

○コロナ陽性者が出た時のメール連絡後の対応について

〔濃厚接触者やPCRに検査、自宅待機について…等、メールが配信された家庭、されない家庭があり情報が錯綜して混乱した。子どもを預ける側からすると正しい情報開示が欲しかった。〕

- ⇒園としても大変混乱をしてしまい、保護者の皆様にご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。保健所の職員の方の指示のもと、個人が特定されないような配慮を進めてまいりましたが、そのことがかえって混乱のもととなってしまったかもしれません。現実として個人を特定、中傷するような情報が流れたという声も聞いています。今後も気を付けあっていかなければならない問題です。

○コロナ対策として日々どんな対策をしているのか。

- ⇒**保育中** 手洗い・うがいの励行、手指消毒、ソーシャルディスタンスをとった並び方(トイレ等)、机と机の間隔をあける、給食を食べ終わったらマスクをする、マスクが汚れたら変える、定期的な換気、空気清浄機の利用…等
- ⇒**放課後** 保育室の清掃・消毒(机・椅子、おもちゃも含む)、屋外遊具の消毒…等

○行事の中止、延期について、また参観者の人数制限などについて

- ⇒コロナ禍での行事の中止や延期、参観者人数や時間の制約…等、仕方がないことである。わかっているものの残念ではあるし少し寂しい。どんな形でも開催してくれたことで子どもの姿を目にすることができ良かった。というように概ねご理解をいただきました。またZoomやWebを使った活動を取り入れることも必要ではないか。というご意見もありました。コロナウィルス収束(終息)については、次年度もどうなるのかまだまだ先が見えませんが、今年度の反省をもとに工夫しながら対応していきたいと考えています。

保育については、概ねご回答をいただいた皆様から一定のご評価を頂戴できました。

園長を含め教職員への厳しいご意見もございました。ご意見を頂戴したことを真摯に受け止め頑張っていく所存でございます。改善点はまだまだありますので、現状に甘んずることなく、より一層子ども主体の保育を心掛けるとともに、年間行事・教育内容などの再度見直し、より快適な環境となるよう今後も鋭意努力を重ねてまいります。次年度に向けてよい反省材料をいただき、感謝申し上げます。コロナウィルスが収束(終息)に向かうことを願いながら、子ども達が主体的に活動できるよう、環境(人的・物的)を整え、成長を促せるような日々の積み重ねを大切に、教師一人一人が子どもに寄り添った保育ができるよう引き続き研鑽を積んでいきたいと考えております。

一年間のご理解とご支援、誠にありがとうございました。

○学校保健の柱

- ①園児の健やかな生活を守るため、保健に関する学習機会を推進し、自主的な健康生活の基礎を培う。
- ②健康診断を実施し、疾病異常の早期発見と早期治療を促すとともに、保護者との相談活動に努める。
- ③JRC（青少年赤十字）活動の精神に基づき、保育室内外の環境美化を推進する。
- ④保護者を含めて、家庭ぐるみでの食育教育・環境教育の推進を図る。

○学校安全の柱

- ①学校施設器具の定期安全点検を実施する。
- ②園児、教職員、家庭それぞれの防災意識を高め、同時に火災・震災に備えての園内定期訓練を実施する。
- ③保育時間中の園施設内の巡回・監督についての分担表を整備し、担当者による監督・指導を徹底する。
- ④園外活動時の事前現地調査（下見）ならびに当日運営にあたっての監督者数、父親代表者の同行に配慮し、安全な事業実施を図る。
- ⑤交通教育の徹底を図り、事故防止に努めるとともに、保護者、教職員の交通道德向上に向けての啓蒙活動を行う。
- ⑥正門、通用門、裏門の施錠・開錠管理を徹底し、不審者の侵入を防ぐとともに、定時園内巡回や防犯カメラ管理によって安全確認を進める。

以上の柱に基づき、別紙のような年間計画を作成し、その実施に努める。

令和2年度 学校保健安全計画

焼津豊田幼稚園

☆第1学期

		4月	5月	6月	7・8月
園行事 学年行事等		7 始業式	25～ 自由登園	9 年長がんばりハイク①	22 年長川遊び
		9 入園式		10 年長がんばりハイク②	8/5 終業式・年長夕方保育
				17 内科検診①	8/24-28 夏季保育
				24 内科検診②	8/31 始業式・防災訓練
		新型コロナウイルスのため 休園 (4/10～5/31まで)			
保安 健全 管理	心身の 管理	身体測定		身体測定	身体測定
		応急処置記録整理		内科検診	
				健康診断事後措置	応急処置記録整理
				健康診断未受診者再検診	感染症罹患率調査
	環境管理	施設点検	施設点検	施設点検	施設点検
		施設内の環境整備	施設内の環境整備	施設内の環境整備	施設内の環境整備
		トイレ・水道等の石鹸つけ	トイレ・水道等の石鹸つけ	トイレ・水道等の石鹸つけ	トイレ・水道等の石鹸つけ
		救急箱の管理・補充	救急箱の管理・補充	救急箱の管理・補充	救急箱の管理・補充
				園外活動中の救急準備	園外活動中の救急準備
	安全管理	施設器具の安全点検	施設器具の安全点検	施設器具の安全点検	施設器具の安全点検
		施設内の巡回・監督	施設内の巡回・監督	施設内の巡回・監督	施設内の巡回・監督
		施設内所定場所の撮影	施設内所定場所の撮影	園外活動中での救護活動	園外活動中での救護活動
			プール活動中の救護活動	プール活動中の救護活動	
			施設内所定場所の撮影	施設内所定場所の撮影	
			防災・避難訓練	防災・避難訓練	
保安 健全 教育	保健指導	保健だより発行	保健だより発行	保健だより発行	保健だより発行
				虫歯と歯磨きについて	感染症とその予防について
				環境衛生について	夏季休業中の健康管理
				歯磨き指導(年長)	熱中症予防について
	安全指導			手洗い・うがいについて	
				園内での事故防止	園内での事故防止
				園外活動中の安全	園外活動中の安全
					夏季休業中の安全管理
	環境 その他の 啓蒙活動		応急処置	応急処置	応急処置
			健康観察	健康相談活動	健康相談活動
				健康観察	健康観察
					夏季研修

☆第2学期

		9月	10月	11月	12月
園行事 学年行事等		16 保護者会おたのしみ会	1 年長SL遠足	6 年長がんばりハイク	11 もちつき
		年長視力検査	2 年少園外保育	17 創立記念日	23 終業式・大掃除
			3 とよだっこまつり	28 音楽祭	
			7 年中遠足ハイク		
			10 運動会		
			27 年中がんばりハイク		
			30 年少がんばりハイク		
保安 健全 管理	心身の 管理	身体測定	身体測定	身体測定	身体測定
		応急処置記録整理	応急処置記録整理	応急処置記録整理	応急処置記録整理
		治療勧告書整理	治療勧告書整理		感染症罹患率調査
			年長視力検査		
	環境管理	施設点検	施設点検	施設点検	施設点検
		施設内の環境整備	施設内の環境整備	施設内の環境整備	施設内の環境整備
		トイレ・水道等の石鹸つけ	トイレ・水道等の石鹸つけ	トイレ・水道等の石鹸つけ	トイレ・水道等の石鹸つけ
		救急箱の管理・補充	救急箱の管理・補充	救急箱の管理・補充	救急箱の管理・補充
		園外活動中の救急準備	園外活動中の救急準備	音楽祭の救急準備体制	
	安全管理	施設器具の安全点検	施設器具の安全点検	施設器具の安全点検	施設器具の安全点検
		施設内の巡回・監督	施設内の巡回・監督	施設内の巡回・監督	施設内の巡回・監督
		防災点検	園外活動中での救護活動	園外活動中での救護活動	園外活動中での救護活動
		緊急時管理体制の見直し	防災・避難訓練	防災・避難訓練	防災・避難訓練
		防災・避難・引渡し訓練			
保安 健全 教育	保健指導	保健だより発行	保健だより発行	保健だより発行	保健だより発行
		けがの処置と予防について	就学時検診事前指導	規則正しい生活・睡眠	冬に多いやけどについて
		生活習慣の見直し	目の大切さについて	風邪の予防対策	冬季休業中の健康管理
			栄養バランスと健康管理	うがい・手洗いについて	冬に負けない体力づくり
				衣服の調節・工夫について	
	安全指導	園内での事故防止	園内での事故防止	園内での事故防止	園内での事故防止
		園外活動中の安全	園外活動中の安全	園外活動中の安全	
	環境 その他の 啓蒙活動	応急処置	応急処置	応急処置	応急処置
		健康相談活動	健康相談活動	健康相談活動	健康相談活動
		健康観察	健康観察	健康観察	健康観察
					冬季研修

☆第3学期

		1月	2月	3月	
園行事等 学年行事等		7 始業式	一日体験入園	2 年少お別れ会	
		中旬 マラソンごっこ	24 年中お別れ遠足	19 修了式・大掃除	
		23 作品展	26 年長お別れ遠足	20 修了証書授与式	
		年中視力検査	中旬 マラソンごっこ		
		年少視力検査	劇参観		
保健管理 保安管	心身の管理	身体測定	身体測定	身体測定	
		応急処置記録整理	応急処置記録整理	応急処置記録整理	
		次年度健康診断立案	次年度健康診断立案	次年度健康診断準備	
		病欠調査	病欠調査	年間感染症調査	
				公簿整理	
				病欠調査	
	環境管理	施設点検	施設点検	施設点検	
		施設内の環境整備	施設内の環境整備	施設内の環境整備	
		トイレ・水道等の石鹸つけ	トイレ・水道等の石鹸つけ	トイレ・水道等の石鹸つけ	
		救急箱の管理・補充	救急箱の管理・補充	救急箱の管理・補充	
		園外活動中の救急準備		園外活動中の救急準備	
	安全管理	施設器具の安全点検	施設器具の安全点検	施設器具の安全点検	
		施設内の巡回・監督	施設内の巡回・監督	施設内の巡回・監督	
		防災・避難訓練	園外活動中での救護活動	園外活動中での救護活動	
			防災・避難訓練	防災・避難訓練	
	保健教育 保安教	保健指導	保健だより発行	保健だより発行	保健だより発行
			冬季休業後の健康管理	換気的重要性について	1年間の健康管理の反省
インフルエンザ予防対策			寒さに負けない体力づくり	耳について	
手洗い・うがいの見直し				春季休業中の健康管理	
安全指導		園内での事故防止	園内での事故防止	園内での事故防止	
			園外活動中の安全	春季休業中の安全指導	
環境 その他の 啓蒙活動		応急処置	応急処置	応急処置	
		健康相談活動	健康相談活動	健康相談活動	
		健康観察	健康観察	健康観察	
				春季研修	

【 園内施設（建物・構築物関係）の保全状況 】

- 1 南唐屋根塗装・南棟雨とい補修掃除
- 2 北棟空き教室エアコン設置
- 3 園庭緑化関係事業
 - ➡園庭の芝関係の事業として、時期に合わせて肥料を散布、冬芝の種まきなどを実施した。また、スプリンクラーなどの修理も実施した。
- 4 延長保育こぼと組照明交換
 - ➡照明がすぐ切れてしまうことが続き業者に調べてもらったところ交換が必要となり、LED照明に交換した。
- 5 渡り廊下テント交換
 - ➡風の影響により渡り廊下に穴が開いてしまったためテントの張替えをした。
- 6 給食室スチームコンベクション
 - ➡業者に修理を依頼

※項目4・5・6については急遽の修理・交換だった為、本来予定していた「裏門フェンス補修工事」については次年度に行う予定

【 園内遊具の保全状況について 】

前年度末に業者による一斉点検を実施した。その結果、以下の点について報告ならびに指摘があった。

- 1 ビッグツリー（にこにこの木） ➡ 3階踊場部分の木製枠のひび割れ
昨年度に引き続いて経過観察を行った。現在、直接、転落等の事故につながる危険性はないが、状況の目視に心掛ける。

※なお、各学期末に担当者による目視、触診による動作点検を実施している。
今年度末には業者による一斉点検を予定している。

【令和2年度コロナ禍での年間行事の変更について】

1学期

* 4/7 始業式

* 4/9 入園式（ホールでの式は取りやめ園庭での青空入園式とした）

※ 4/10～5/31まで休園措置

* 5/11～15 希望者のお宅に家庭訪問（手紙配布、園児、保護者との顔合わせ）

* 5/18～22 Zoom交流会（クラスごと時間を決めて）

* 5/25～29 自由登園日（クラスごと登園日を設定し、密にならないよう配慮）

※ 6/1～保育開始

* 親子遠足については全学年中止とした。

* 年長川遊びは、7/22雨天延期→7/31雨天中止→8/28中止

* 年長宿泊保育は中止、8/5にハッピーナイトとして活動した。（宿泊はなし）

* 保護者会主催とよだっこまつり8/29延期→10/3に学年ごと対応で開催した。

* 1学期終了を8/5まで延長した。夏季保育を8月最終週に移動し引き続き2学期に入れるよう変更した。

2学期

* がんばりハイクについては、バス台数を増やし、配車にゆとりをもたせて園児を乗車させることで実施した。

* わんぱくホリデー（運動会）

⇒ 10/10に計画していたが天候不順の為、学年ごと実施に変更。（事前に連絡済み）

満3・年少・年中はミニわんぱくホリデーとして平日午前中に実施（保護者1名）

年長は小学校を借りて1週間後の土曜日を計画したが雨天で開催できず、平日シーガルドームサブアリーナを借りて実施した。（保護者1名）

* 学園合同音楽祭

⇒ 11/28→コロナウィルス陽性者がでたこともあり、全体での実施は中止。

満3・年少・年中は平日ホールにて分散実施。（保護者1名）

12/24→年長のみ焼津幼稚園年長と合同で焼津文化会館にて開催した。

（保護者2名）

*ふれあいの日（祖父母参観日）⇒12/5→中止

3学期

*造形まつり作品展

⇒1/23→各学年4グループに分け時間を区切って参観していただいた。（保護者1名）

*節分の会 2/2

⇒全体での会は中止。節分についての話はクラスごと対応。豆まきはやらず、家でまくように豆まき用の豆とお菓子を持ち帰った。

*劇遊び参観会

⇒満3・年少は保育室内で。年少は参観者を2日間に分けて実施。

年中・年長はホールで行う為、ディスタンスをとって参観。（保護者1名）

*ひな祭りの会

⇒クラスごと順次行う。

*修了証書授与式（卒園式）

⇒予定通りの日程で行うが、年長児全員+保護者+教職員がホールに入ることは密になる為、クラスごと入れ替え制で行う予定。（保護者2名までの参加という内容で保護者向けにお知らせ済み）

【感染対策として実施してきたこと】

- ・「手洗い・うがい」「手指消毒」「マスク着用」「検温」を励行。
- ・「3密」にならないように子どもも大人も気を付ける。
- ・冷暖房を使いながらも、定期的な換気を心掛けら。（各保育室には空気清浄機を常備）
- ・放課後の消毒作業（保育室・屋外遊具・室内のおもちゃ消毒）
- ・通園バスの消毒（各コース子どもが全員下りたら消毒し次のコースの迎えに行く。）

*延長保育こぼと組について

近年、幼稚園においても共働きや核家族も多く延長保育を利用される家庭が多い。

現在、常時こぼと（月預かり契約者）と日預かりという形で区分されている。人数が多いこともあり常時こぼとは市より認定をもらっている家庭のみとなっている。

しかし、一日にお預かりする子どもが60人を超えてしまうことも多い。その為、コロナ対策として延長保育用保育室（年中）・すみれ組保育室（年長）・きりん組保育室（満3・年少）と3グループに分けて対応している。

【 新型コロナウイルス対策について 】

1. 屋外消毒



2. 室内おもちゃの消毒



3. 通園バスの消毒

バス内の抗菌防臭剤の施工証明書



4. ソーシャルディスタンス (トイレ前)

